

以下, u, v などは (縦) ベクトルを表すものとする. 行列 A に対し, その転置行列を tA で表す. 行列の成分のうち, 何も書いてない部分は全て 0 であるものとする.

答案用紙 (2 枚, 両面) の指定の箇所に解答してください. 要点が押さえられていれば, 途中計算は必ずしも全て書く必要はありません. 2 枚とも, 学籍番号と氏名を忘れず記入してください.

$$1. A = \begin{pmatrix} 2 & 0 & -4 \\ 1 & 0 & -2 \end{pmatrix}, B = \begin{pmatrix} -1 & 4 & 0 \\ 0 & 2 & 2 \end{pmatrix}, C = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 1 & 1 \\ 3 & 5 \end{pmatrix}, D = \begin{pmatrix} 0 & -3 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}, F = \begin{pmatrix} 1 & 0 \end{pmatrix} \text{ とする.}$$

- (1) 次の行列の和, 積のうち, 定義されるものは計算し, そうでないものは「定義できない」と答えよ.

$$A + 2B, \quad A + 2D, \quad 2A + C, \quad 2A + {}^tC, \quad BC, \quad DF, \quad FD, \quad D^2$$

- (2) 次の連立方程式の解を求めよ. 解を持たない場合は理由を答えよ.

$$(i) A \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (ii) B \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix} \quad (iii) C \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 8 \end{pmatrix}$$

2. (1) 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}, B = \begin{pmatrix} 2 & 1 & k \\ 1 & 0 & 1 \\ -1 & 2 & 1 \end{pmatrix}$ について, 階数 $\text{rank } A, \text{rank } B$ を求めよ. ただし k は定数とする.

- (2) θ を定数とする. $X = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$ は正則か. 正則ならば逆行列を求めよ.

- (3) a, θ を定数とし, $a \neq 0$ とする. $Y = \begin{pmatrix} a \cos \theta & -\sin \theta \\ a \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$ は正則か. 正則ならば逆行列を求めよ.

- (4) a, θ を定数とし, $a \neq 0$ とする. 4×4 行列 $Z = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & & \\ \sin \theta & \cos \theta & & \\ & & a \cos \theta & -\sin \theta \\ & & a \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$ は正則か.

(裏面に続く)

3. (1) $n \times n$ 行列 X が対称行列であり，交代行列でもあるとき， $X = O$ であることを示せ．
 (2) 全ての $n \times n$ 行列 Y は，対称行列と交代行列の和に表せることを示せ．
 (3) (2) のような表し方はただ一通りであることを示せ．
 (4) $n \times n$ 行列 A, B は共に対称行列であるとする．このとき，積 AB が対称行列であることと， $AB = BA$ であることは同値であることを示せ．
4. (1) $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} 2 \\ 5 \\ -1 \end{pmatrix}$ ， $\mathbf{v} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ とする． xyz 空間内の点 $P_0 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 4 \end{pmatrix}$ を通り， \mathbf{u} に平行な直線を ℓ_1 ，同じく P_0 を通り \mathbf{v} に平行な直線を ℓ_2 とする． ℓ_1, ℓ_2 の方程式を求めよ．
 (2) \mathbf{u}, \mathbf{v} の両方に直交し，長さが 1 のベクトル \mathbf{w} を一つ求めよ．
 (3) ℓ_1, ℓ_2 の両方を含む平面 H はただ一つに定まる． H の方程式を求めよ．
 (4) $A = \begin{pmatrix} 3 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & -1 & 2 \end{pmatrix}$ は正則な行列である． A^{-1} を求めよ．
 (5) (3) で求めた平面 H 上の任意の点 $p = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ は， A を使って別の点 $P = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} = A \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ に移すことができる．移された点 P はどのような図形の上にあるか，その図形を表す方程式を求めよ．

配点：30, 25, 25, 20 ((3 × 8) + (2 × 3) = 30, (5 + 5) + 5 × 3 = 25, (6 + 6 + 6) + 7 = 25, 5 × 4 = 20)